

コロナ危機から命と生活を守る！ 安倍政権を倒し民主主義的社会主義へ！

民主主義的社會主義運動・Movement for
Democratic Socialism

6.27MDS集会 in 寝屋川



4/26 医師を招き駅前屋外「コロナ学習会」を実施



4/20、5/25、寝屋川市に対して、市民の切実な声をもとにコロナ対策の充実を要望。市独自のPCR検査実施など、一部は実現した。

●6月27日(土)14:00:~16:30

●寝屋川市民会館3階講義室

(寝屋川市駅東15分)【資料代500円】

マスクの着用をお願いします。コロナ感染予防にご協力下さい。

<集会プログラム>

【第1部】

▶あいさつ

▶基調講演

『コロナ危機から命と生活を守る！

安倍政権を倒し民主主義的社會主義へ！』

(大西裕三郎MDS河内地区委員長)

▶特別講演

『安倍政権の新型コロナ医療政策の誤りと闘いの方向性』

(医療問題研究会医師)

【第2部】

▶コロナ対策を巡る対寝屋川市交渉より

▶MDSからの訴え

▶グループ討議

▶『2020ZENKO in 大阪』の成功を！

▶週刊MDS購読のお願い

▶まとめ・行動提起

●安倍政権は追い込まれています。民主的諸権利を強権的に奪った「緊急事態宣言」は、感染症対策ではありませんでした。PCR検査の抑制策は感染を拡大させ、市民を死に追いやりました。宣言により休業を強制しながら、必要な財政支出・補償を放棄し自治体任せにしたことで、倒産・失業など被害はこれから一層深刻化していきます。

●安倍政権は、黒川氏を検事総長に据え検察をコントロール下に置くことで、自ら直接関与した「桜を見る会」「森友・加計疑獄」をはじめ、河井議員公職選挙法違反などを不問に付そうとしていました。しかし、市民の広範な怒りによって、検察庁法改悪案は今国会成立が見送られ、黒川氏は辞任に追い込まれました。

●根本的に誤っているコロナ対策、検察人事をほしいままにしようとする目論見、県民意志を無視した辺野古新基地建設など、憲法と法律を歪め好き勝手に法解釈を変更し、改憲を狙う安倍政権を、市民は許してはいません。その結果、PCR検査基準や雇用調整助成金上限枠の変更など、重要政策を幾度となく変え、撤回せざるを得なくなりました。支持率急落は、安倍政権の終焉が近いことを示すものです。

●安倍政権や維新勢力は、グローバル資本利益を最大限守り、市民に犠牲を押し付けてコロナ「出口戦略」を進めようとしています。私たちは、正しい医学的知見に基づく科学的なコロナ感染症対策を確立しなければなりません。MDSは、医療や介護を脆弱化し教育権を奪い、明日を生きられぬ貧困を押し付ける新自由主義路線ではなく、民主主義的社會主義を展望とする人権尊重の平等な社会をつくりだしていくことを訴えます。地域からみんなで声を上げ、安倍政権・維新を倒しましょう！MDS集会にご参加ください！

★主催:MDS(民主主義的社會主義運動)河内地区委員会★ <http://www.mdsweb.jp/>

○連絡先 〒572-0837 寝屋川市早子町20-12 希望のクラブ

○TEL 090-3927-6382 山口